

## 自然教室チームだより

## 9月自然観察会

## 奈良公園巨樹・巨木巡り 実施報告

9月29日(火) 観察日当日は暑くなく寒くなく晴天に恵まれ、絶好の観察日和となりました。

お蔭様で23名の参加者を得て嬉しい悲鳴です。多めに準備したつもりの資料も出発直前には、残りが数部と成り薄氷を踏む思い。それでもギリギリ間に合いホッとしました。

午前10時、リストにある50本近くの巨木、銘木を目差し、近鉄奈良駅行基菩薩像前をイザ出発。

奈良公園と言う身近な場所だけに、ほとんどの方がご存知の場所、樹木と思っておりましたが、意外と初めての方も多く、こちらの説明にもツイツイ熱が入ります。

それにしても、定番の明治天皇のクスノキ、飛火野南側の雷のクスノキはじめ、長い年月を経て毅然とその場に存在する大木を見るたび一種独特の荘厳で新鮮な感覚に襲われます。

他にも、奈良市天然記念物のイチイガシの巨木群、県下一・二を争う巨木の若宮の大楠、イブキを従えた春日大社御神木の杉、と材料には事欠きません。

中でも今回特に皆さんの目を引いたのは、春日野園地東側斜面にそびえるコナラの大木でした。



その立派な姿には皆様からも感嘆の声が聞かれましたが、残念ながらそこにもナラ枯れの被害が見受けられ将来の姿に不安を感じさせました。更に、大きな洞の有るセンダンの巨木が続き、感動と驚きの時間はあっという間に過ぎて行きました。

最後には、葉っぱが合着しラップ状に成った葉を有するイチョウの木を皆様に御紹介。当日の観察会に“花を添える形では無く”、“幸福の葉を添

える形で” 楽しい観察会を終えました。

沢山の皆様のご参加本当に有難う御座いました。次回観察会にも是非多数ご参加下さい！！

(辻本信一)

月ヶ瀬小学校 放課後子ども教室  
校庭の自然観察会 実施報告

10月14日(水) すばらしい青空のもとで観察会を実施しました。これで3年目になります。

総人数53名という小さな学校ですが、そのうち19



名が参加してくれました。みんなとても素直な子供たちで、明るく楽しい時を過ごしました。

4つのポイントを取り上げました。1つ目はコノテガシワです。不思議な樹形や葉っぱの形、きれいな白い実やその熟した中味など興味深く観察しました。

2つ目のポイントはクチナシです。名前のいわれを知り、また、黄色の食品着色剤として役に立ってくれることを、実際にタネを水に漬けて理解しました。実を切って中を見たときは驚きでした。

3つ目はカヤツリグサです。二人で蚊帳を吊る仲よし遊びに挑戦しました。指導よろしきを得て、たくさんの子供たちが成功しました。

4つ目はオオバコです。葉っぱの付け根を切って、中の白い糸(維管束)を長く引き出し、人に踏まれても負けない強い草の秘密を知りました。茎を使ったお相撲も楽しみました。

自然工作はクマのペンダント作りです。一生懸命頑張って目、鼻、耳をボンドで付けました。リリヤンを通して出来上がりです。

1時間15分という短い時間でしたが、ゆったりとした気持ちで取り組むことができ、子どもたちも保護者もそしてスタッフも満足した楽しい観察会となりました。(倉田 晃)